

2027 年度 麗澤大学大学院 経済研究科《修士課程》入試大綱

1. 入学定員

経済研究科 修士課程 経営学専攻 10 名

2. 選考区分及び募集人員

選 抜 区 分		経営学専攻 合計
入 試	一 般	約 10 名
	学内特別推薦	
	卒業生特別推薦	

3. 試験日程（一般・特別入試共通）

出願期間 (締切日消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期限 (消印有効)	入学辞退期限 (消印有効)
2027 年 1 月 12 日(火) ～1 月 22 日(金)	2 月 20 日(土)	2 月 26 日(金)	3 月 5 日(金)	3 月 31 日(水)

入学資格審査申請期限：2026 年 12 月 4 日(金)必着

4. 選抜方法

(1) 一般

※配点は非公表

選抜方法	備 考	時 間	配 点	総合点
書類審査 (注1)	入学志願票、成績証明書、研究計画書等	/	100点	400点
筆記試験 (注2)	経営学に関する専門科目	90分	200点	
口述試験 (注3)	出願書類（主に研究計画書）および筆記試験に関連した内容について行う	/	100点	

注1：研究計画書は日本語で記述する。

注2：筆記試験は日本語で出題される。解答は日本語とする。

注3：口述試験は日本語で行う。

(2) 学内特別推薦

※配点は非公表

選抜方法	備 考	時 間	配 点	総合点
書類審査 (注1)	入学志願票、成績証明書、推薦書、研究計画書等		100点	200点
口述試験 (注2)	出願書類（主に研究計画書）に関連した内容について行う		100点	

注1：研究計画書は日本語で記述する。

注2：口述試験は日本語で行う。

(3) 卒業生特別推薦

※配点は非公表

選抜方法	備 考	時 間	配 点	総合点
書類審査 (注1)	入学志願票、成績証明書、推薦書、研究計画書等		100点	200点
口述試験 (注2)	出願書類（主に研究計画書）に関連した内容について行う		100点	

注1：研究計画書は日本語で記述する。

注2：口述試験は日本語で行う。

5. 出願資格

共通	<p>次の（1）を満たす者。日本国外の国籍を有する者についてはこれに加えて（2）を満たす者。</p> <p>（1）次の各号のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none">① 学校教育法に定める大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者あるいは令和9（2027）年3月大学卒業見込みの者② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者あるいは令和9（2027）年3月までに修了見込みの者③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者あるいは令和9（2027）年3月までに修了見込みの者④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者あるいは令和9（2027）年3月までに修了見込みの者⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による
----	--

	<p>評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者あるいは令和9(2027)年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑦ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑧ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの</p> <p>⑨ 本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの</p> <p>(注)</p> <p>(2) 日本国外の国籍を有する者は、本大学院生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格を取得又は更新できる者。但し、入学手続き及び授業参加の都合上、国内在住者のみが出願可能。</p> <p>(注) 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者、外国における3年制の大学、専科学校卒業等で学校教育における16年の課程に満たない場合であっても、本研究科における個人の能力に対する個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で22歳に達した者については、出願することができます。該当者は、出願前に個別の入学資格審査を受けることが必要となります。詳しくはホームページに掲載する入試要項をご確認ください。</p>
一般	日商簿記検定2級以上の資格を有する者
学内 特別推薦	<p>次の各項に該当する者。</p> <p>(1) 本学学部4年次生で、本課程を第一志望とする者</p> <p>(2) 所属学部長が推薦する者</p>

	<ul style="list-style-type: none"> (3) 出願時の GPA が通算 2.5 以上の者 (4) 日商簿記検定 3 級以上の資格を有する者 (3 級の者は入学後 2 級以上取得をするものとする)
卒業生 特別推薦	<p>次の各号に該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本学学部卒業生であり、本課程を第一志望とする者 (2) 在学時の指導教員、所属学部長及び専攻長、又はその他本学専任教員が推薦する者 (3) 日商簿記検定 2 級以上の資格を有する者

*本学の学部 4 年次在学者で、学部在学中に、本学経済研究科の修了に必要な単位のうち最大 14 単位を科目等履修生として修得見込であり、かつ本学経済研究科の教員から研究指導担当の内諾を得ている者は、本学経済研究科修士課程を 1 年で修了できる場合がある。